

札幌水道ビジョン《概要版》

(案)

皆さまからのご意見を募集します

募集期間

平成 26 年 12 月 22 日 (月)
～平成 27 年 1 月 23 日 (金)

水道は市民生活と都市活動に欠かすことのできない重要なライフラインです。札幌市はこれまで、安全で良質な水を安定して供給するという使命を果たしていくために、「安全」「安定」「利用者満足」「健全経営」という 4 つの目標を定め、計画的に事業を進めてきました。

そうした中、近年は、人口減少社会の到来や東日本大震災の発生に伴う危機管理対策、エネルギー政策の見直しなど、水道を取り巻く社会経済情勢が大きく変化しています。

また、水道局が実施した将来の水量推計では、平成 27 (2015) 年度をピークとして、水需要の予測値が初めて減少傾向となる見通しとなりました。

このような状況を踏まえ、将来にわたって持続可能な水道システムを構築していくため、長期的な視点に立った取組の方向性や今後 10 年間に進めていく具体的な取組をまとめた「札幌水道ビジョン」を策定することとしました。

このたび、計画案をまとめましたので、皆さまからのご意見を募集します。

札幌市水道局

市政等資料番号
01-N04-14-1849

目 次

ビジョンの位置づけ	3
構 想 編	
基本理念と目標	4
札幌水道の主な課題	4
今後の事業環境と事業展開の考え方	6
施 策 編	
今後 10 年間の取組姿勢	9
重点取組項目 1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	10
重点取組項目 2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	11
重点取組項目 3 利用者とのコミュニケーションの充実	13
重点取組項目 4 経営基盤の強化と連携の推進	14
重点取組項目 5 エネルギーの効率的な活用	15
財政収支見通し	16
皆さまからのご意見を募集します	17

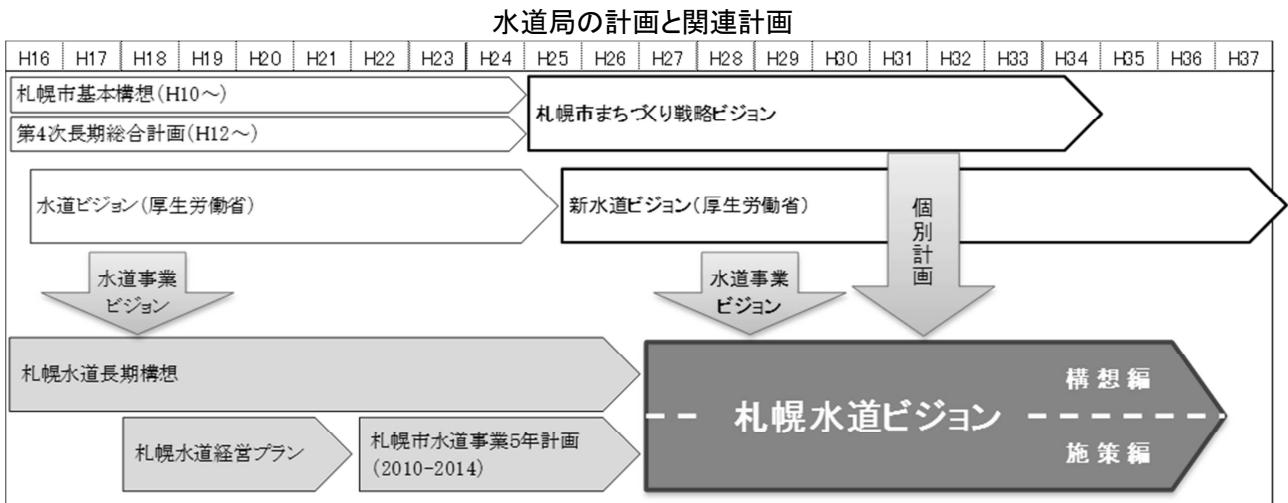
ビジョンの位置づけ

札幌水道ビジョンは、これまでの「札幌水道長期構想」と「札幌市水道事業5年計画」を一体化したものであり、水道事業の理念や目標を「構想編」、目標を達成するための具体的な取組を「施策編」とする、2編構成の計画です。

計画期間は平成27年度（2015年度）から平成36年度（2024年度）までの10年間です。

このビジョンは「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の基本的な方向に沿って策定する水道についての個別計画として位置付けます。

また、厚生労働省が全国の水道事業体に策定を求めている「水道事業ビジョン」（長期的視点を踏まえた戦略的な水道事業の計画）に位置付けます。



特色

1 水需要減少期への挑戦

今後の人口減少等に伴う水需要減少期における施設の大規模更新などに向けて、これまで築いてきた水道システムを次世代に適切に引き継ぐために、今後の施設整備の方向性と財務基盤の強化について示しました。

2 パートナーシップの醸成

利用者の信頼性向上や業務の効率化、技術力の確保・向上、災害対応力の強化など、さまざまな取組を効果的・効率的に進めていくために、利用者や出資団体、民間企業、他の水道事業体、教育・研究機関など多様な主体とのつながり（パートナーシップ：連携）をより一層意識した計画としました。

3 恵まれた自然の活用

自然の恵みである再生可能エネルギーを利用する水力発電の導入、豊平川扇状地などの自然の地形を生かした施設の配置による省エネルギー化など、世界に誇る環境首都・札幌の実現につながる取組を盛り込みました。